

オトナ女性 漫画大賞 結果発表!!

準大賞選出! 佳作含め過去最多の8作品が受賞!!!

準大賞
受賞!!!
賞金50万円!
+副賞

『トコヨノ観光案内所』

夜宵乃十六 東京都

あらすじ 観光案内所に念願の就職を果たした杏。ところが、“見える”体質だった杏は、幽霊を黄泉に導く「幽霊専門案内所」に配属されてしまう。次々訪れるちょっとヤバめなお客さんに、早くも後悔する杏だったけれど、そんな時、明らかに「憑いている」一般のお客さんが現れ、観光案内の対応をすることに…!?

受賞コメント

はじめてのオリジナル漫画でした。佳作をいただけたら万歳と調子にのっていましたが、結果を待つうちに「せめて奨励賞…」「せめて誰か一人に届け」と自信をなくし徳を積みながらの生活でした。そんな中での準大賞のご連絡…未だに何か大きな力の介入を疑っています(笑)。巻き込まれないよう気を付けて今後も精進します。

特別審査員 末次由紀先生の講評は次ページへ!!



特別審査員

末次由紀先生講評

漫画として大変完成度が高く、技術の高さが素晴らしいです。漫画的なデフォルメや、表情の密度、濃度が描き分けられていて読みやすく、一気に読めました。設定も、幽霊ものなのにリアリティがあり、「社会の中の幽霊」として認知してくれる組織があることに救いがあるなと感じました。欲を言えば、もう少し主人公コンビのキャラのバランスと設定に尖った個性があるとなお良し。シリーズや連載もありえると思います。



「Kiss」電子版8月号／「BE・LOVE」電子版8月号／
「パルシィNEXT」(7/15～)にそれぞれ掲載!

『この外国人がオタクすぎて、夢が叶えられない』

りにあ・かたや 東京都

あらすじ 漫画家になるためにニューヨークから日本にやってきたミーナ。アニメーターとして働きながら夢を追う日々の中で、ふと立ち止まる。表現の世界は自由であるはずなのに、なぜ私は縛られている気がするのだろうか——。読むと心が熱くなる、創作の源流で足掻くミーナの FIGHTING DAYS。

受賞コメント

このたびはご選出いただき、誠にありがとうございます。マンガ家になるためにアメリカから来て、このような評価をいただけるなんて、夢のようです。昔から応援してくれている家族や友人にも感謝しています。これからも頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします!

佳作
受賞!!!
賞金30万円
+副賞



特別審査員 末次由紀先生講評

絵がとっても可愛い!! 全身のデッサンも背景も確かなもので、画力に不安な点がなくトーンワークも適切で見やすいです。画力と可愛い絵柄が邪魔をしてか、かえってミーナとすすかの人種が違う点が絵から伝わってきづらく、勿体無いと感じました。物語はまだこれから、という感じですが、個人の葛藤と愛情が正直に描けるのはりにあさんの強い武器ですね。オタクという設定をもっと濃く、海外ルーツのオタクだからこそ気づける思考や経験を土台に、そこから起こる思いもかけない現実の「異世界転生」を描いてもらえたらと思います!

「Kiss」電子版8月号／「BE・LOVE」電子版8月号／
「パルシィNEXT」(7/15～)にそれぞれ掲載!

奨励賞

受賞!!!

賞金5万円

審査員
特別賞

賞金5万円

『美味しい名前を つけたなら』北風 石川県

あらすじ 厳しい母の元で育ち、将来の夢が無かった柚月は、辛いときにいつも支えてくれた幼なじみの風花に誘われ、家を出て和菓子職人を目指すことに。二人で夢を追いつける日々の中、風花の実家の和菓子店で食中毒の騒ぎが起きてしまい…!

末次由紀先生 講評 すごく良い作品ですね…! 32Pなのに60Pくらいの作品を読んだ気持ちです。柚月と風花のそれぞれの個性や困難が、物語のうねりにしっかりと噛み合っていて、北風さんのストーリーテリングの上手さを感じます。和菓子のコンクールだけでもワクワクするのに、漢詩の解釈までも同時に楽しめること、読み切りのお得感がすごいです。先輩たちのキャラもいい味を出していて、世界観の厚みにつながっていますね。とても素敵な物語でした!! 丁寧に描き込まれているのですが、描かれる人物のサイズの強弱がもっとあると、目を引く作品になったと思います。2ページ毎くらいで「ここが綺麗な絵の見せ場」とわかる演出をしてあげてください。作品の魅力がますます大きくなります。



奨励賞

受賞!!!

賞金5万円

『イエスタデイ ワンスモア』采野ふみ 埼玉県

あらすじ 生まれつきの吃音があるが、歌だけは吃音が出ずに歌える初音。歌手の母親に憧れ、自分も歌手になりたいと思っていたが、過去のトラウマからその夢を閉ざしてしまっていた。そんな折、自宅で母が倒れ、帰らぬ人となってしまい…。



末次由紀先生 講評 まさかの展開に…泣きました。身体の描き方や背景にまだ少しぎこちなさがあるものの、マスクをしたままの初音の大きな泣き顔などに強く惹きつけられ、良い魅力を持っていると感じながら読み進めました。お母さんのキャラがとてもいいですね。最初からキャラが立っている理由が最後にしっかりわかって、それがまた読み手に大きな感動を呼ぶ流れが作れているのがすごいです。初音の歌の魅力、吃音とのギャップなどがもっと伝わるように描けるといいですね。漫画は音が出ない弱さを持ちますが、そこを超えていくのがいちばんの漫画の力の見せ所。歌を受け取った人の胸に起こる事を、どうぞ丁寧に描いていってください。

奨励賞

受賞!!!

賞金5万円

『行きつ戻りつ海を ゆきかう』茶山小道 愛知県

あらすじ ウミガメの来る町で生まれ育った高校生の実栗は忙しい母親に進路のことを相談できずにいた。そんな中、沖縄から転校してきた蓬と出会う。環境の変化によるウミガメの未来と自身の不確定な進路を重ねてしまう実栗だが…。



末次由紀先生 講評 ウミガメがドーンとテーマでとても新鮮ですね! 不器用な大膳さんと、転校生の蓬くんの距離感が心落ち着く空気を醸し出していて、進路に戸惑う高校生の心理を優しく描いていて好感が持てました。欲を言えば漫画らしい部分、漫画でしか描けない広がりのある展開があると、茶山さんの漫画をまた読みたい!と思わせる力になったかと思います。着眼点、温かな人間性を描ける作品の品のようなもの、それらが既にいいので、漫画的工夫に挑戦してみてください!

『スーツとロリィタ』つぼみ可奈 福岡県



あらすじ ショッピングモールでスーツ販売をする背広弘は、隣にやってきたロリータファッション店の店長、姫宮ふりるにモール内での売り上げを塗り替えられ、忸怩たる思いでいた。ある日、娘の入園式のためにスーツを探している客がやってきて…?

末次由紀先生 講評 めちゃくちゃ面白かったです!! 画力が高い上に漫画としてのメリハリも素晴らしい。小物からシワの一本に至るまで、しっかりとした気合を感じます。キャラクターも立っていて、個性が違うのに応援したくなる二人のいるこの空間がもう楽しい。「スーツ」と「ロリィタ」のプライドのぶつかり合いではなく、お互いにリスペクトできる点を見せている。物語の展開も見事で、読み切りとしてとても魅力的です!

編集部
特別賞
賞金3万円

審査員
特別賞
賞金5万円

『ある日 森の中』ニュエン葉山アイラ アメリカ



あらすじ 街から街へと渡り歩き、本を売ったり交換したりしながら旅を続ける、本の行商人さん。ある日彼女は街と街の間の森の中で熊に出会う。熊はどうやら本を欲しがっているようで…。

末次由紀先生 講評 童話のような幻想的なお話で、どこか懐かしい気持ちで読み進めました。本を売る本屋、なのに稼ぐことよりも「本のある暮らしの良さ」を攪拌するように、めぐる地域の人々の心を温かく混ぜ合わせている本屋さん。キャラクターがとても魅力的です。物語としてはゆっくり進むので、呪いの話・クマさんとの話が軸であるならもう少し展開を早くしてもよかったかもしれません。良い雰囲気を持つ線のタッチ、背景描写が作品に合っていてとても良かったです。淡々とした雰囲気が持ち味なのかもと思いますが、もう少し強弱をつけ「ここが見せたい!」が伝わるとなお読後感のよい物語になったと思います。

編集部
特別賞
賞金3万円

『ロンリートリップ』久富フミカ 埼玉県



あらすじ 彼氏にドタキャンされ、一人で沖縄に来た麻友。ガイドのルイは陰気だし、最悪の旅行になるかもと思っていた。沖縄の雰囲気をエンジョイしていたところ、ルイの過去を知ってしまい…? アラサー、一人旅。自分を見つめる物語。

末次由紀先生 講評 導入から思いもかけないことが起こっていて引き込まれました。ダメな彼氏に振り回される主人公、新しく出会う案内人も対人関係が苦手…キャラを際立たせようという意志を感じます。主人公が普通の人に見えるのが勿体無いので、ダメ彼氏に振り回されてもなぜか従ってしまう彼女もまたダメ、とい

編集部
特別賞
賞金3万円

うところも描けたら、作品の魅力としてプラスになったかと思います。物語はどこか消化不良のまま終わってしまったので、32Pで東京に帰ってきてからの二人まで描き切れるように、構成してもらえたら読者も喜ぶます!

総評 末次由紀先生

今回の応募作には、「好き」という感情を、自分だけの視点で掘り下げようとする強い熱量がありました。題材も作風も幅広いのに、それぞれの作品に「この人にしか描けない温度」があるのがとても魅力的です。一方で、漫画は“伝えたい気持ち”だけでなく、“どう見せるか”でさらに輝きます。ぜひ、キャラクター・演出・構図の強弱を恐れず、自分の武器をもっと尖らせてください。みなさんが次にどんな作品を描くのか、楽しみにしています。